

平成28年度 市民部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・市政運営の基本となる自主財源である市税等の確保を図る。 ・持続可能な保険制度の維持確立。 ・市政への市民参画及び市民活動を促進するとともに、男女共同参画社会の形成を目指す。 ・すべての人が人間として尊重され、生きていく権利が保障されなければならない社会を築きあげるため、様々な人権施策を展開する。 	1.まちづくり調査研究事業の充実	・市のまちづくりの課題に対する調査研究の委託:2件	・テーマの集約 ・同志社大学政策学部との調整	・同志社大学政策学部真山ゼミに消防総務課のテーマである「京田辺市消防団の今後の活動と将来像を考える」について調査研究を委託した。今回は中間報告を実施する等、担当部署の考えを報告書に反映できるよう努めた。	B	・次年度は大学への委託から市との共同研究を行う方式に切り替える。 ・市の抱える課題に応じて、政策学部だけでなく、他の学部や女子大学の活用を進める。
	2.第2次京田辺市男女共同参画計画に基づく新規啓発講座の実施	・男女共同参画社会の形成に向けて、計画の改訂に伴う新たな啓発講座を開催し、男女共同参画に対する市民意識のさらなる向上を目指す。	・市民を対象とした男女共同参画推進講座の開催:1回(3連続講座) ・女性交流支援ルーム講座(ポケット講座)の開催:3回	・新規講座として、市民を対象とした男女共同参画推進講座(3回連続講座)を1回、女性交流支援ルーム講座(ポケット講座)を3回開催し、市民の男女共同参画への意識向上を啓発することができた。	A	
	3.未申告者への申告勧奨	・申告書の郵送に加えて、臨戸訪問を実施することにより、未申告者への申告を促し、公正な課税を行う。	(6月)未申告者抽出(7~8月)申告書発送(10月)臨戸訪問実施	・10月に未申告者(221件)の臨戸訪問を実施し、申告勧奨を行った。	A	

平成28年度 市民部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4.国保特別会計の歳出抑制の取り組み	・医療費の抑制と被保険者の自己負担の軽減を図る	・ジェネリック医薬品差額通知及び効果検証を行う	・平成28年4月～平成29年3月に延べ2,119名に通知を実施。(費用額約307万円) ・現時点で把握可能な被保険者本人負担分も含む医療費削減効果額は約3,150万円(4月～10月分)となっている。(年間に換算すると推定約5,400万円)	A	・費用対効果を考えると、今後も医療費削減額が頭打ちになるまで継続する。
	5.マイナンバーカード発行を円滑に行う。	・全市民の10%の方に対してマイナンバーカードの発行を目指す。	・広報紙やHPで広報・啓発。	・マイナンバーカード6466件の申請に対して、5,362枚を交付した。(申請数/人口9%)	B	・市広報紙や個別通知、また、引き続き日曜日に関し、交付促進を図る。

平成28年度 市民部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	6.市民への人権意識・思想の普及	・人権意識の普及のため、市民への展開は不可欠	(8月) ヒューマン映画上映会 人権問題研修会(3日間) (10月) わくわくワークショップ (12月) ハートフルフェスタ	・ヒューマン映画上映会 (参加者120名・前年度比増) ・人権問題研修会(3日間) (参加者615名・前年度比減) ・わくわくWS・FW (参加者36名・前年度比増) ・ハートフルフェスタ (来場者180名・前年度比増) ・犯罪被害者支援啓発事業 ・ホンデリング事業 (今年度新規・1036冊回収) ・講演会 (来場者54名・前年度比減)	B	・人権問題へ一人でも多くの方に関心を持ってもらえるような、テーマを取り上げる。 ・啓発手法について、効果的なものとなるよう、SNSの活用を進める。